

編 集 後 記

訃報は突然に訪れた。平成 27 年 3 月 10 日。卒業式まであと数日という学年度末に、沢野さん逝去の報が届けられたのである。享年五四。不意打ちのような訃報であった。予期せぬ事態にうろたえつつも、とるものもとりにあえず通夜ご葬儀にかけつけてくれた在學生、卒業生の姿があったことは、残されたわれわれにとって一掬の慰めとなるものであった。4 月に新年度を迎え、10 月の現在、同じフロアにある沢野研究室は主を失ったまま、遺品が運び出されるのを待っている。

沢野さんは推進力の人であった。フィールド・ワークの人であった。エネルギーを発しつつ走り抜け、われわれにはもうその背中の見えない場所に走り去ってしまった。

沢野さんとの出会いは、平成 6 年の春に遡る。沢野さんが本学に講師として着任した年である。着任するやいなや、持ち前の推進力で、あつという間に、学内 RUN システムを作りあげてしまった。それは当時、短期大学としては石川県初となる情報ネットワークシステムと言われた。このような、馬力がありエネルギーで立ち止まることのない運動力も沢野さんの一面だと思うが、私の思い出の中の沢野さんは、どこか内気な小学生を思わせるようなところがあった。それは、自著の新刊が出ると必ず私の研究室にやってきて、「これ」とだけ言って渡してくれるときなどに見せる表情であった。いつのことだったか、沢野さんが、若くして事故死した大学時代の友人のことを話してくれたことがある。そのときにも、一瞬言葉をつまらせた沢野さんの、途方にくれたようにさまよう眼差しに出合ったことがある。

ベルサイユ宮殿の庭園の池には一匹のカワカマスが飼われていて、それがコイたちを活発に動き回らせているという。そうしないと、安逸な環境で飼われているコイが怠惰になって太りすぎてしまうからだと言われている。沢野さんは本学の、心優しきカワカマスであったと思う。今もどこかの池で何かを追いかけているような気がしてならない。

本学の紀要である『星稜論苑』44 号を、「故沢野伸浩教授追悼特輯」として発行するにあたり、追悼文を寄稿いただいた今中哲二先生、後藤真太郎先生に感謝申しあげるとともに、11 名の研究者による 13 編の原稿を沢野先生のご霊前に捧げ、謹んでご冥福をお祈りする。

平成 27 年 10 月

青木眞知子

『星稜論苑』投稿規定

経営学会 運営委員会

編集・発行について

1. 本誌は、金沢星稜大学女子短期大学の紀要として、原則として年1回、12月に発行します。
2. 原稿は、未発表の論文、研究ノート、翻訳、資料などとしてします。
3. 執筆者は、原則として本学専任教員・非常勤講師及び委員会が承認した者としてします。
4. 論文等は、委員会の審査を経て掲載されます。
5. 紀要に掲載された記事の著作権は原則として金沢星稜大学女子短期大学経営学会に帰属します。
但し、著作者自身は、自分の記事・論文等の全文または一部を複製、翻訳・翻案等の形で利用することができます。

執筆について

1. 原稿字数
原稿字数は本誌 20 ページ (28,000 字) 以内とします。
但し本文中に図、表、及び写真を含む場合は、その図表等の大きさ分の字数を減らすこととします。
2. 原稿の体裁
(1) 原稿はパソコン等で作成した原稿を原則とし、USB メモリー (またはデータ送付) と印字した原稿を提出して下さい。
(2) 原則としてA4版、40字36行とし、余白は上下・左右約30mmとします。
(3) 刷り上がり頁を想定して作成し、図、表、及び写真は挿入するか、またはその箇所を空けて印刷して下さい。
(4) 縦書き、英文原稿その他の様式については、委員会にご相談下さい。
3. 提出先
原稿は提出期限までに、運営委員長 (メールボックス) に提出下さい。
4. 校正
執筆者の校正は原則として2校までとします。提出原稿の改訂はご遠慮下さい。
5. その他
(1) 執筆者に対し、抜刷り50部を進呈します。これを超える部数は有料とします。必要部数を原稿提出時に申し出て下さい。
(2) この規定は本誌第34号より適用します。

星 稜 論 苑 第44号

平成 27 年 12 月 25 日 印刷
平成 27 年 12 月 25 日 発行

発行・編集人 中 本 義 徳

発 行 所 金沢星稜大学学会短期大学部会
〒920-8620 金沢市御所町丑10番地1
TEL (076)253-3924
FAX (076)253-3993

印 刷 所 前田印刷株式会社
〒924-0004 白山市旭丘2丁目16番地
TEL (076)274-1155

編 集 委 員

委員長 青 木 眞知子
山 本 航

MEMOIRS
OF
KANAZAWA SEIRYO UNIVERSITY WOMEN'S JUNIOR COLLEGE

No. 44

December 2015

Contents

To the Memory of the Late Professor SAWANO Nobuhiro

On the Publication of this Special Issue

- to the Memory of the Late Professor SAWANO Nobuhiro SHINOZAKI Takao
Mr. Sawano: You appeared as a comet, and then left us. IMANAKA Tetsuji
Rest In Peace, Professor Sawano GOTO Shintaro

— Management & Accounting —

Articles

- Regarding a Trial of Student Assistance in Junior College
Information Education Classes TATSUSHIMA Yumi 1
Effect of Active Learning for Improvement of Generic Skills
on Student Recognition NOBUKAWA Keiko 9
A Study of the Effects of Introducing Student Assistants in
Bookkeeping Education ~Bookkeeping Testing Results and
Student Assistance Usage Frequency Correlation~ HAMADA Mineko 21
Class Composition Based on Achievement Level in
Bookkeeping Education HAMADA Mineko 35
On the International Tourist Year Commemorative Activities UEDA Takuji 41

Research Notes

- Correlation between Employee Satisfaction and
Customer Satisfaction YAMAMOTO Wataru 61

Reports

- On the Possibility of Area Cooperation Through Active Learning ... MATSUZAKI Yoko 77

— Liberal Arts —

Articles

- “A Class of Ethics (Junior High School) Learning from the Careers
of Great People” ~ Toju Nakae Focusing on Respect and
Thankfulness for One’s Parents~ HONDA Minoru 85
Leibniz’s Phenomenalism and Two Notions of Phenomenon EDAMURA Shohei 117
Desire, Good, and the Doctrine of Distinct and Confused
Inclinations in Leibniz EDAMURA Shohei 139
Syntax of VP Ellipses and Adverbial Positions in Japanese MORI Nobue 155
Impacts on English International Testing Goal Achievement
~Student Inclusivity, Learning Curves, and Diminishing Returns~ LYNCH Gavin 173
A Study of Natsukusa no Uta (*Waka of the Grass in Summer*) AOKI Machiko 199

**The Chronological Record of the Late Professor SAWANO Nobuhiro
and the List of his Theses and Achievements**

Published by
THE SOCIETY OF BUSINESS ADMINISTRATION
KANAZAWA SEIRYO UNIVERSITY WOMEN'S JUNIOR COLLEGE
Kanazawa City, JAPAN